

本校の研究について

1 研究主題

わかる喜び、学び合う楽しさが実感できる算数科学習
～学ぶ意欲を高める算数科指導のあり方を探る～

2 主題設定の理由

本校では、昨年度から算数科を中心に授業研究を行ってきた。また、研究推進を図るため、基礎学力部会と授業研究部会の2つの部会を設定し、研究を進めてきた。

基礎学力部会では、算数科を支える基礎学力を養うために、話し方や聞き方、発表の仕方、基礎的な計算技能を高める手立て等を考えてきた。授業研究部会では、子ども同士が互いに関わって学ぶことが理解を深め、学ぶ意欲を高めると考え、ペア学習やグループ学習などの授業形態を取り入れた授業研究を重ねてきた。その結果、「友だちと関わって学習することの楽しさ」を述べる子どもが増えるなど一定の成果を得ることができた。

しかし、「算数の勉強を好きだ」と答える子どもの割合が県平均を下回るなど、学習意欲の向上が課題であることが明らかになった。

これらの現状を踏まえ、本校の課題を解決していくために、子どもたちが授業の中で、間違ふことを恐れず自分の意見や疑問を述べ、既習事項を活用して、仲間とともに問題解決をしていくような授業づくり（学び合いのある算数科授業）が必要であるとの共通理解に至り、本研究主題を設定することとした。

3 研究計画

- (1) 研究授業・研究協議：要請訪問（6月）
- (2) 夏季研修：指導案及びベースプランの作成
- (3) 各校との合同研修：ベースプランの検討（9月末）
- (4) 研究発表会：研究授業と研究協議（11月4日）
- (5) 研究の評価・まとめ
- (6) 学習環境の整備

4 キーワード

「学び合い」「自己評価」「自己肯定感」